

全国農業関係試験研究場所長会 令和6年度研究功労者表彰

【受賞事業】

DMI剤耐性菌存在下におけるリンゴ黒星病の防除技術の開発

【受賞者】

りんご研究所 赤平 知也

【受賞理由】

H28～30年にDMI剤耐性の黒星病菌が県内全域で大発生し、防除技術の開発が急務となった。この課題を解決するため、重点防除時期の見直し、新たな発生予測法や省力的で効率的な落葉収集機を開発したほか、黒星病対策を強化した新たな防除体系を構築した。これらの技術をすみやかに普及したことでH30年に結果樹面積の73.6%を記録した発生面積はR5年には1.5%まで低下し、りんごの安定生産に貢献したことが評価された。



春季の新たな防除体系（令和3年）			
回数	散布時期	基準薬剤（殺菌剤）	希釈倍数
1	展葉1週間後頃	ヘフラン液剤25	1,000倍
2	開花直前	S ネクスターフロアブル	1,500倍
		D フルーツセイバー	2,000倍
		H パレード15フロアブル	2,000倍
		I 剤 カナメフロアブル	4,000倍
3	落花直後	ミギワ20フロアブル	4,000倍
		+	
		デランフロアブル 又はチウラム剤 又はマンゼブ剤	1,500倍 500倍 600倍
4	落花10日後頃	ユニックス顆粒水和剤47	2,000倍
		+	
5	落花20日後頃	チウラム剤	500倍
		デランフロアブル 又はチウラム剤 又はマンゼブ剤	1,500倍 500倍 600倍



授賞式【令和6年6月27日】

黒星病の発生面積推移